

ニーズ等調査報告書 (2012年度)

2013年8月

(社) 熊本県社会福祉士会
会員サービス委員会

ニーズ等調査報告書（2012年度）

目 次

I、調査の概要	p.1
1、調査の目的	
2、調査の対象	
3、調査の方法	
4、集計の方法	
5、倫理的配慮	
II、調査の結果	p.2
III、調査の考察	p.14
IV、まとめ（提言）	p.16
※ 参考資料（調査様式）	p.17
※ 編集後記	p.19

I、調査の概要

1、調査の目的

この調査は、熊本県社会福祉士会に入会している会員のニーズ及び現状の把握を行い、サービスの向上を図ることを目的とし、今後の熊本県社会福祉士会の活動を考えていく上の基礎資料とする。

2、調査の対象

2013年1月21日現在、熊本県社会福祉士会に入会している675名の全会員を調査対象とする。

3、調査の方法

会員サービス委員会にて作成したニーズ等調査票を、2013年1月21日付けで郵送し、後日、同封の返信用封筒にて返送・回収する（2013年2月20日締切）。

4、集計の方法

単純記述は、人数を集計し、割合で示す。また、自由記述は、各設問について、関連した内容をカテゴリーに分類し、割合で示す。なお、分類できない内容については、その他として、原則、記載された内容をそのまま掲載した。

5、倫理的配慮

調査は、個人が特定できないように無記名にて全会員を対象として行った。

II、調査の結果

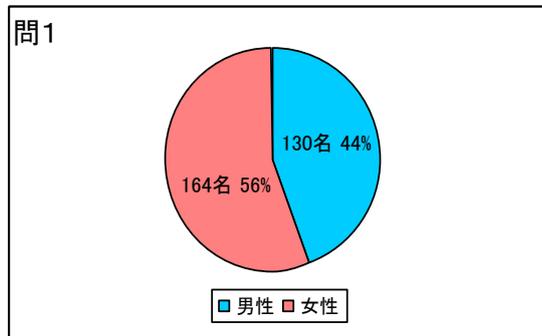
1、調査の回収率

発送数	675
回収	294
回収率	43.5%

2、調査の結果

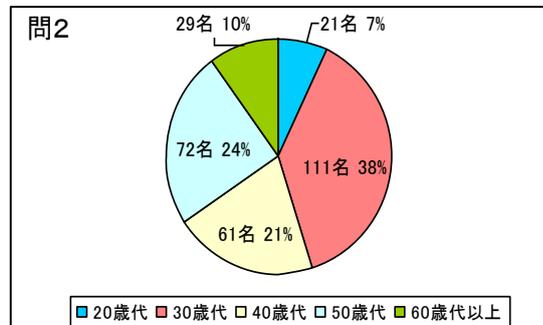
問1 性別

男性	130
女性	164
計	294



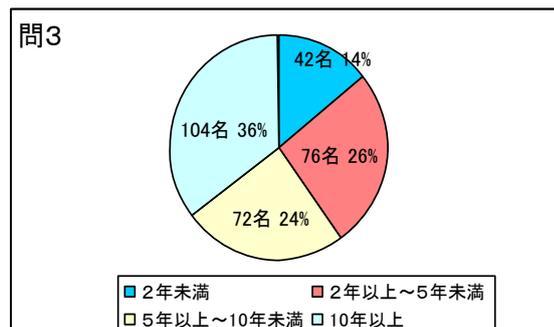
問2 年齢

20歳代	21
30歳代	111
40歳代	61
50歳代	72
60歳代以上	29
計	294



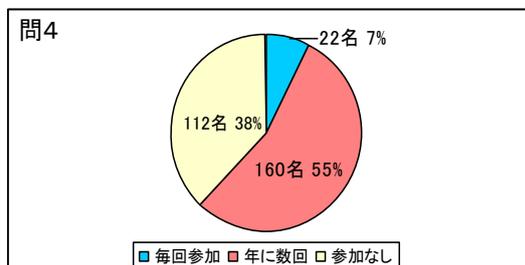
問3 社会福祉士会の入会年数

2年未満	42
2年以上～5年未満	76
5年以上～10年未満	72
10年以上	104
計	294



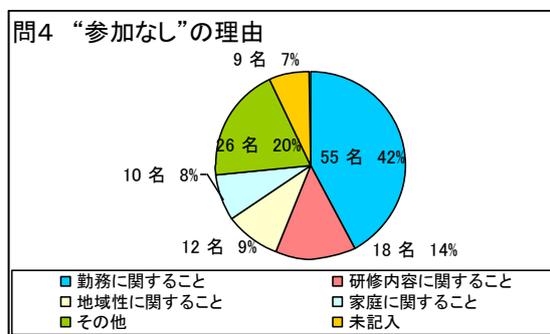
問4 熊本県社会福祉会が行う研修等に参加する頻度

毎回参加	22
年に数回	160
参加なし	112
計	294



“参加なし”の理由（複数回答あり）

勤務に関すること	55
研修内容に関すること	18
地域性に関すること	12
家庭に関すること	10
その他	26
未記入	9
計	130



※勤務に関すること：55

- ・日程が合わない 31
- ・勤務との都合が合わない 21
- ・実務をしていない 2
- ・退職後はお休みしています 1

※研修内容に関すること：18

- ・研修内容に魅力を感じない 9
- ・他団体の研修を優先している 5
- ・参加しにくい（敷居が高い） 2
- ・研修案内は年に数回、数えられるくらいしか実施がないのではないかと？ 県外の研修に参加している。 1
- ・参加する場合がありますが、分野、領域の偏りもあり、自分に合ったテーマを選択しにくい 1

※地域性に関すること（遠方であるため等）：12

※家庭に関すること：10

- ・子育て、家事があるため 8
- ・介護があるため 2

※その他：26

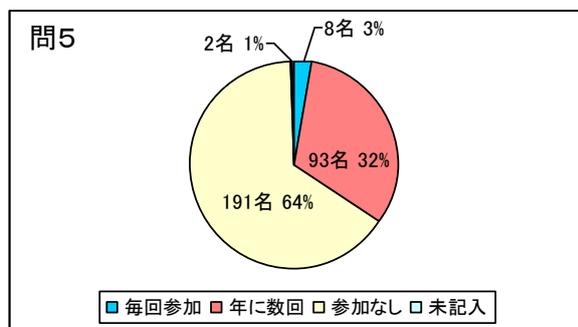
- ・入会して日が浅い（転居して間もない） 7
- ・参加費が高い 5

- ・先着順で間に合わない、定員に達していた 4
- ・高齢であるため 2
- ・案内が遅い 1
- ・関心・興味が薄れた 2
- ・プライベート優先 1
- ・同世代が少ない 1
- ・参加するのが億劫なため 1
- ・今年度は参加していない 1
- ・国家資格が出始めた頃はよく参加していたが、医療関係者の方々が福祉の分野に入り始め、本来の福祉が低迷化し、それとともに社会福祉士という資格も存在自体がますます薄れかけているように受け止めており、参加しなくなった。 1

※未記入：9

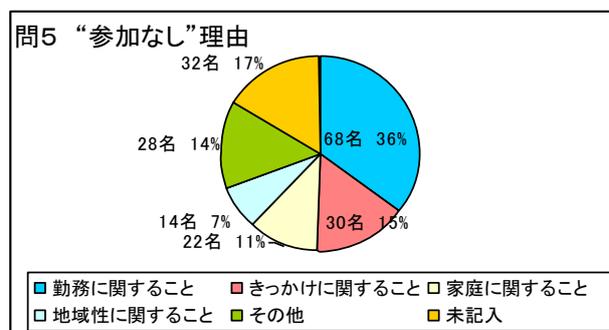
問5 熊本県社会福祉士会が行う懇親会に参加する頻度

毎回参加	8
年に数回	93
参加なし	191
未記入	2
計	294



“参加なし”の理由（複数回答あり）

勤務に関すること	68
きっかけに関すること	30
家庭に関すること	22
地域性に関すること	14
その他	28
未記入	32
計	194



※勤務に関すること：68

- ・日程が合わない 45
- ・勤務の都合 21
- ・実務をしていないため行きづらい 2

※きっかけに関すること：30

- ・知っている人が少ない 10
- ・新しい会員が参加しづらい（敷居が高い、内輪のイメージが強い） 8
- ・転居（入会）して間もない 5
- ・懇親会の存在を知らなかった（案内が来ていない） 2

- ・参加機会がない 2
- ・20代でSWになる前の人の交流があれば参加したい 1
- ・先日、案内があったばかりでまだ参加していない 1
- ・研修会に参加していないため 1

※家庭に関すること：22

- ・子育てのため 18
- ・介護のため 2
- ・家庭の都合 2

※地域性に関すること：14

- ・遠方のため 13
- ・交通手段の確保が困難 1

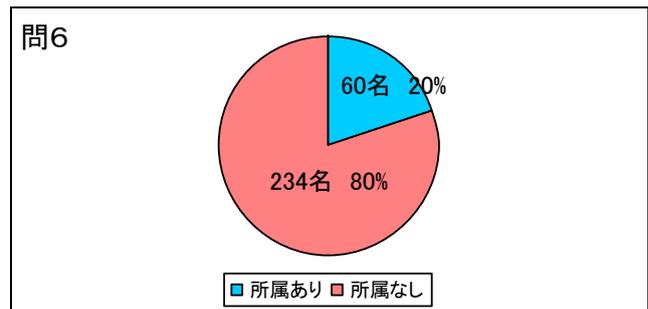
※その他：28

- ・参加できる余裕がない 9
- ・酒席・タバコが嫌い（飲めない） 7
- ・金額が高い 6
- ・他団体優先 3
- ・高齢のため 1
- ・国家資格が出始めた頃はよく参加していたが、医療関係者の方々が福祉の分野に入り始め、本来の福祉が低迷化し、それとともに社会福祉士という資格も存在自体がますます薄れかけているように受け止めており、参加しなくなった。 1
- ・プライベート優先 1

※ 未記入：32

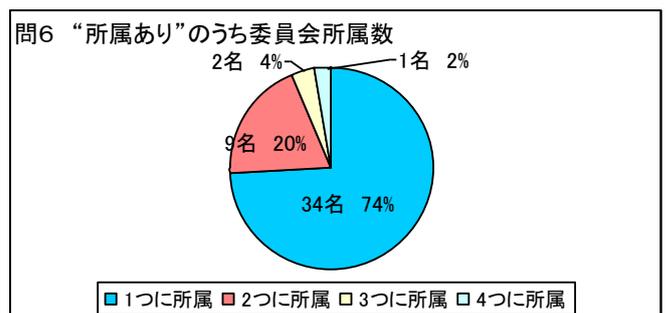
問6 委員会の所属

所属あり	60
所属なし	234
計	294



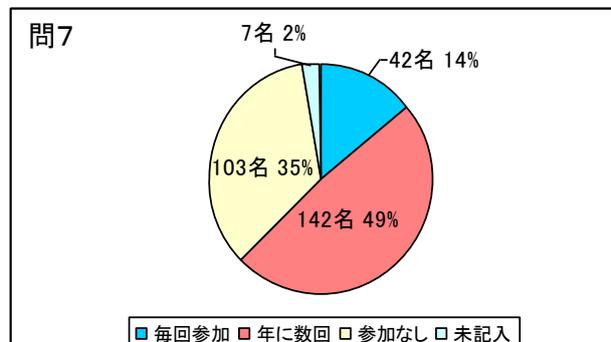
・“所属あり”のうち、委員会所属数

1つに所属	34
2つに所属	9
3つに所属	2
4つに所属	1



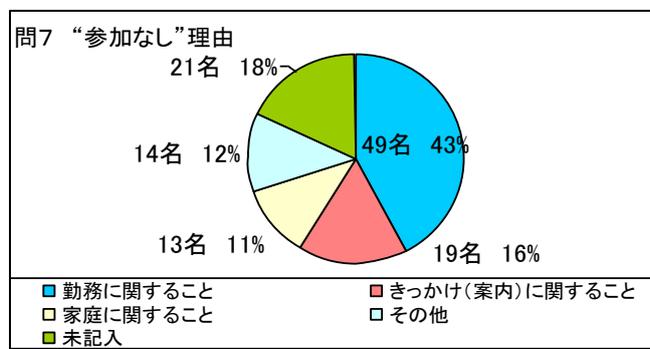
問7 所属ブロックが行う研修・懇親会等に参加する頻度

毎回参加	42
年に数回	142
参加なし	103
未記入	7
計	294



“参加なし”の理由（複数回答あり）

勤務に関すること	49
きっかけに関すること	19
家庭に関すること	13
その他	14
未記入	21
計	116



※勤務に関すること：49

- ・日程が合わない 32
- ・業務の都合 14
- ・社会福祉士資格での仕事をしていない 3

※きっかけに関すること：19

- ・いつ開催されているのか、活動が分からない 5
- ・一人では参加しづらい（知人がいない、内輪のイメージが強い） 6
- ・転居（入会）して間もない 3
- ・世代の相違 2
- ・ブロックからの連絡、案内がない 1
- ・きっかけがない 1
- ・案内が遅い 1

※家庭に関すること：13

- ・子育てのため 12
- ・家族の介護があるため 1

※その他：14

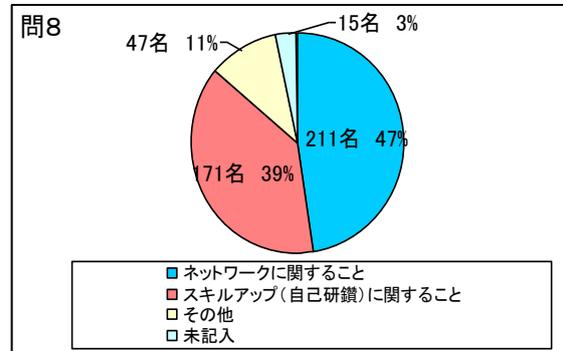
- ・研修会場が遠方のため 2
- ・特に理由はない 2
- ・内容が職務と合わない 2

- ・高齢であるため 1
- ・帳面消しな要素の強い研修には魅力を感じない。SW 会に新規入会した際に先輩面し、上から目線（SWの質の問題） 1
- ・参加者の多くは老人関係で自分の分野とは異なる 1
- ・活動内容がよく分からない。自身のスキルアップに繋がらない。 1
- ・退職し、休職中 1
- ・ブロックの分け方が勤務地でなく居住地であるため 1
- ・他団体優先 1
- ・余裕がない 1

※未記入：21

問8 社会福祉士会の入会目的（複数回答あり）

ネットワークに関すること	211
スキルアップに関すること	171
その他	47
未記入	15
計	444



※ネットワークに関すること：211

- ・人脈（ネットワーク）を広げるため 107
- ・情報入手、交換 102
- ・社会福祉士の仲間入りを実感したい 1
- ・組織力 1

※スキルアップに関すること：171

- ・自己研鑽 132
- ・研修会に参加できるため 26
- ・視野・活動の幅を広げるため 8
- ・仕事に生かせるものが得られるため 2
- ・スーパービジョン 1
- ・社会福祉士としての自覚を忘れないため 1
- ・倫理観の再確認 1

※その他：47

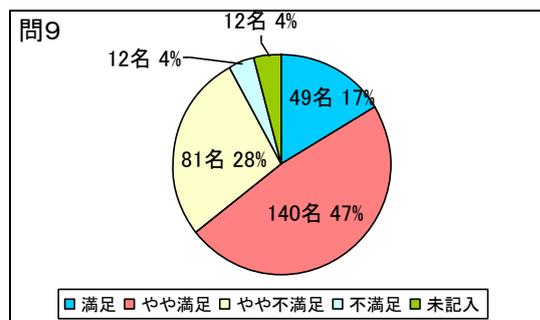
- ・人の勧め 15
- ・専門職としての地位向上を目指すため 5
- ・分からない・なんとなく 5
- ・社会福祉士としての役割や責務について広く社会に周知するため 2
- ・専門職として団体には入会しておいたほうがいいだろうと考えた 2
- ・社会貢献 2
- ・国家試験合格からの流れで 2

- ・社会福祉士になれば入会するものと思っていた 2
- ・退会検討 2
- ・ブロック役員をすることになったため 1
- ・ソーシャルアクションを実現するため 1
- ・仕事をするため 1
- ・認定社会福祉士取得 1
- ・業務に必要と思った 1
- ・全国大会があった際入会（講演参加のため） 1
- ・仕事以外での活動をしたかったため 1
- ・ソーシャルワーカーとして必要と思われる 1
- ・実習指導者として、実習生受入をするため 1
- ・何か出来ることがあるのでは？と思って 1

※未記入：15

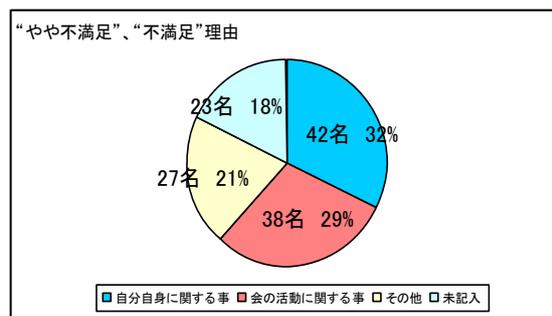
問9 入会目的に対する満足度について

満足	49
やや満足	140
やや不満足	81
不満足	12
未記入	12
計	294



“やや不満足”、“不満足”理由（複数回答あり）

自分自身に関する事	42
会の活動に関する事	38
その他	27
未記入	23
計	130



※自分自身に関する事：42

- ・自分がまだ、殆ど参加できていない 32
- ・個人研修のため職場の理解が得られない 3
- ・連携などがまだ分からない 1
- ・活動は結局業務外のプライベートな時間を使うことになる 1
- ・参加していない期間が長く途中からの参加が難しいと感じている 1
- ・満足かどうか分からないくらい関わっていない 1
- ・県社福会の活動にきちんと参加できていないため、回答を選べない 1
- ・目的もなく入会したのが原因 1
- ・私にとってはメリットを感じない 1

※会の活動に関すること：38

- ・研修内容、回数に不満、魅力を感じない 23
- ・交流機会が乏しい 6
- ・ブロックにおける参加者が少ない 4
- ・会報がつまらない、発送が遅い 2
- ・ブロック活動が殆どない 1
- ・思っていたほどの情報が得られない 1
- ・会の情報よりも、インターネットなどの情報のほうが早い 1

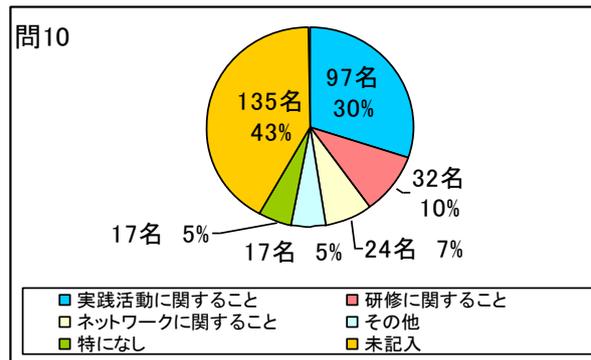
※その他：27

- ・会費が高い割にはメリットがない 19
- ・退会検討中 3
- ・ネットではなく広報紙による情報提供の方がストックしやすいため良い。また、研究誌は内容が年々少なくなっている感がある。生涯研修制度の発展版と考えられる認定社会福祉士制度は任用を必置とする事とセットで進めるべきであり、会を中心に意見を言うべきであった。 1
- ・職場での活用に繋がっていない 1
- ・入会継続している意味があるのか。この会そのものに鮮明にしられているのか、疑問を感じる 1
- ・社会福祉士会として、もっと制度に関わる仕事の中での必要とされる資格としていく方向性・活動力が弱いのでは？ 1
- ・会の活動を通して、SWとして自立したいのですが、そのシステム（経済的にも保障される）や、スーパーバイザーがいない。また、土地柄的にも新しいものを受け入れてもらえない側面がある。最近は浸透してきているが・・・ 1

※未記入：23

問10 あなた自身が行いたい活動など（複数回答あり）

実践活動に関すること	97
研修に関すること	32
ネットワークに関すること	24
その他	17
特になし	17
未記入	135
計	322



※実践活動に関すること：97

- ・児童、障害、高齢者等の相談、活動（ボランティア）、交流支援等 39
- ・地域、ブロック活動の活性化 17
- ・権利擁護、虐待対応、学習 11
- ・成年後見活動 6
- ・スクールソーシャルワーク 5
- ・入会率を高める活動 3

・分野別の活動（障害者部会など）	3
・研究活動	2
・第三者評価の審査員	2
・人的な社会資源マップの作成	1
・ソーシャルアクション	1
・ソーシャルワーカーデイの実施	1
・仲間との活動	1
・現在取り組んでいる活動を続ける	1
・組織におけるコンプライアンスについて学び活かせるようになりたい	1
・ホームレス支援に関する活動	1
・一人親支援	1
・在日外国人への支援	1

※研修に関すること：32

・基礎研修、専門研修（成年後要請、独立型社会福祉士等）への参加	14
・事例検討会	4
・スーパービジョン・相談援助技術を磨きたい（人材育成）	4
・専門分野のさらなる質向上のための研修	4
・年金、労災等の学習	1
・スクールソーシャルワーカー	1
・障害者福祉の勉強会	1
・気軽に参加できる、ワークショップ等の開催	1
・権利擁護面、対人援助面	1
・原点に立ち返って、SWの倫理や価値について学びなおしたい	1

※ネットワークに関すること：24

・若い社会福祉士同士が交流できる機会	9
・包括ネットみたいな同分野、領域における専門職部会	7
・他職種（他団体）との連携、交流会の開催	4
・他事業所との業務連携（体験、見学）	3
・社会福祉士会員以外に対しての外部的広報・啓発活動	1

※その他：17

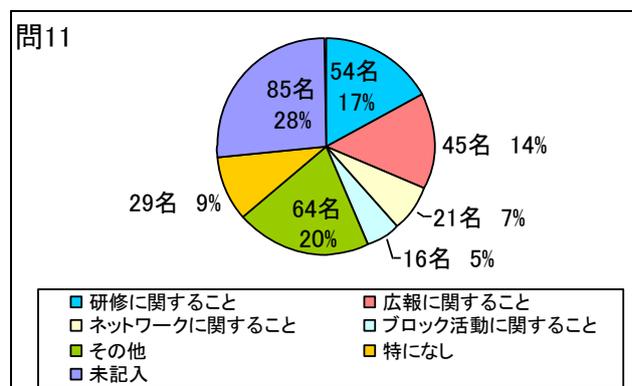
・仕事などで時間の余裕がない	12
・活動には、今参加したいものがあるが、今の自分を考えると、社労士、行政書士の資格をとったり、自分を磨く年だと思っている。	1
・生保へのCSWの業務全面委託	1
・社会福祉士の認知度、活動の周知度がどれだけあり、どのようなことを市民は求めているのか。市町村や所属する職場においてバラつきがあるのではないか	1
・精神保健福祉士を取得し、多種とのチームケアにおいてもっとソーシャルワークの立場（存在）を確立していきたい	1
・会としての活動内容をよく把握していない	1

※特になし：17

※未記入：135

問 1 1 今後の活動に向けての要望など（複数回答あり）

研修に関すること	5 4
広報に関すること	4 5
ネットワークに関すること	2 1
ブロック活動に関すること	1 6
その他	6 4
特になし	2 9
未記入	8 5
計	3 1 4



※研修に関すること：5 4

- ・各専門職分野の研修 7
- ・面接技法の習得や向上の研修 6
- ・託児所等を整えた研修会の企画 6
- ・中央研修が多く、遠方の会員を考慮してほしい 5
- ・研修会を参加したい内容にする等工夫が必要（研修会の充実） 4
- ・倫理、接遇に関する研修 3
- ・スーパービジョン、特にスーパーバイザーの育成などで研修を開催してほしい 3
- ・研修の定員を増やしてほしい 3
- ・研修会するとき、所属を公開してほしい 2
- ・児童福祉、スクールソーシャルワーカーの研修企画をしてほしい 2
- ・全体研修を増やしてほしい 1
- ・業務の都合が合わない時が多いのですが、最近は研修の回数も増えたので、なるべく参加できればと考えています。今後もいろいろと研修の企画をお願いします。 1
- ・現在は一般の会社員であり、実務が出来ないため、参加できる研修が少ない。将来実務が出来ようになった時に役立つような研修があったらありがたいです。 1
- ・機会があったら、研修会、懇親会に参加したい 1
- ・認定の研修を実施してほしい 1
- ・自由参加型の討論会や勉強会。圏域を超えた共同活動などが起きてくる事で今後の視野の広がりも出てこないだろうか。 1
- ・関連法規（社会福祉士六法含む）に関する研修会など開催されれば参加してみたい 1
- ・研修カリキュラムの変更が分かりづらく、具体例を交えたパンフレットの作成 1
- ・受験対策講座の講師は5年程度を区切りとして、後輩育成のためにも別の会員にしてほしい 1
- ・社福会全体の問題かもしれませんが、分野別の研修会の多くが東京で開催されている。首都圏に住んでいる会員と地方に住んでいる会員の“研修を受けることの出来る機会”の差は大きい。秋に行われた九州ブロック研修のような機会が、各分野で行われるようになれば、わざわざ東京に行く必要はなくなる。また、会員以外のSWへの刺激になると思う。今後に期待。 1
- ・成年後見制度の研修会を熊本で行ってほしい 1
- ・すべての会員が満足する全体研修を開催することは難しいことであろうから、今の様に興味のある人は参加したい！と思うような研修会をぜひ開催してください。役員の皆さんもご多忙であろうから、現在の活動で無理をしないでください。 1
- ・熊本市内中心では遠い地方の会員に不利ではないかと思う 1

※広報に関すること：45

- ・広報誌、研修案内をもう少し早く届くようにしてほしい（広報誌の充実） 13
- ・HPの適切な管理、運営（研修などの申し込み環境の整備） 11
- ・広報活動（メディア〈TV、新聞〉へのアプローチも含めた）による社会的な認知度の向上 4
- ・会の活動が分かりにくい 3
- ・支部・ブロック活動ミニマムスタンダードを作成し、どこに所属しても量、質ともに最低限の情報を得られるシステムづくり 2
- ・求人や就職に関する情報提供 2
- ・県民に向けた社福会のPR（啓発）活動が少ないと思う 1
- ・社会福祉士の研修制度変更に伴う、熊本県社会福祉士の取り組みについての情報発信をお願いします 1
- ・士会ニュースにカラー版で分厚いのがくるが、もう少し柔らかい紙でいいと思う 1
- ・会員が増えるような広報活動を検討してほしい 1
- ・社会福祉士の認知を広めて欲しい 1
- ・独立社会福祉士等の活動等。社会福祉士として経済的自立への紹介や情報を伝えて欲しい 1
- ・成年後見のアピールなど 1
- ・県の社会福祉士会がどんな活動をしているのか分かりづらい。総会や研修会に参加しても、参加者が少なく、もったいないと思う。ブロック活動についても、まとまりがなく、連携も十分に図れていない。質の向上につながるように、中央とか遠方の研修にはなかなか参加できない会員も多いと思う。（中央研修に良い内容が多い）新しく社福士の資格を取った人がいても、社会福祉士会に入って良いということ伝えてききれずにいます 1
- ・各職場に向けてのSWとしての役割の啓発（本来の業務が担えていない） 1
- ・常に情報を頂いています。今後、積極的に研修へ参加したい 1

※ネットワークに関すること：21

- ・若い世代での交流会 9
- ・若い会員層の掘り出し 5
- ・他職種さまざまな人々との交流 1
- ・研修会するとき、参加者の所属等を公開してほしい 1
- ・今回の新入会員情報交換会はいい機会だと思いました 1
- ・会員名簿について、個人情報などの件で出していないと思いますが、会員名簿に掲載を希望される会員に限って、作成してもいいのではないのでしょうか 1
- ・管理者たちの交流会 1
- ・委員会に所属したい 1
- ・地域福祉ネットワーク作りの実践。研修・事例・実習・現場研修など、社会福祉士は地域づくり、街づくりにも重要な役割があると思う 1

※ブロック活動に関すること：16

- ・ブロック活動への助成（助成金の増額等） 6
- ・ブロック再編に伴う自由なブロック交流 6
- ・ブロック活動の充実 4

※その他：64

- ・会費を安くしてほしい（コストパフォーマンスを良くする） 7
- ・会員獲得に向けての取り組み 6

・退会を検討中	6
・事務局の体制の安定と充実	4
・参加できるようにしていきたい	3
・現在の名称独占から早く業務独占になるような活動	2
・会としてのビジョンを明確にしてほしい	2
・一般県民に対する相談事業、無料相談会の実施	2
・いつも仲間に励まされ勉強になっています。今後ともよろしくお願いします	1
・国、県、市への施策に物申す団体になりたい	1
・現在職場を変わり、仕事環境に慣れること・覚えることが多く手一杯なのが現状としてあります。しかし、社会福祉士としての感覚・横のつながりとしては大切にしていきたいと考えています。誘って頂いたKさんには大変感謝しています。	1
・共通した内容のグループメンバーを編成する等し、会を盛り上げていく事が必要	1
・夫婦で入会している為、「家族割り」を導入して、資料送付も1部にしてほしい	1
・もっと資格が必置にあるよう強い努力をお願いします	1
・今は活動参加がなかなか難しい時期なので、特に要望はありません	1
・皆さんの頑張りには敬服しています。今後いろいろなNPO等にも頼られる存在になる事を祈っています。会に相談すれば何とかなると…。独立社会福祉士グループ及びそこを通しての仕事の斡旋ができればもっと良いですね	1
・1人1人が会は自分を育て、守ってくれる組織だと言う事を実感してもらおう為の働きかけ	1
・全体像が見えていないので、暫く様子を見たい	1
・資格取得者が会に入って、いろいろな活動に参加して（経験をつんで）『流石、社会福祉士は違う』自他共に認められるように成ることをサポートしてもらいたい	1
・皆様のご活躍に感謝しております	1
・会を通してのソーシャルアクション（ロビー活動も含めて）の方向性を伺いたい	1
・今後は、機会があれば積極的に活動に参加したいと思います	1
・人材育成に力を入れて欲しい	1
・入会ただけでメリットがないと良く聞きますので、入会者が身近に感じる事の出来る会であってほしいです	1
・現状でおおかた満足です	1
・子育てが落ち着いたらまた参加していきたい	1
・福祉士会活動は楽しいのですが、あまりに忙しくて自分の仕事と両立できるのが難しくなってきました	1
・出来ることがあれば協力したい	1
・若い世代に頑張っていただきたい。取得前の人々から見て、入会したいと思えるような組織作りを行って頂ければ幸いです	1
・人材育成にも力を入れることもしてほしい。ただ、認定社福士や上級資格については、社会福祉士の中で行うのは方向性が違うのではと思います	1
・会の運営はとても大変で、組織が大きいほど大変と存じます。本当にご苦労様です。自分も目標を持って、長い目で、福祉士としての誇りや役割を自覚して行動していきます	1
・委員会活動も参加・協力したい気持ちは強くても、やはり会議等熊本市内へ出向く必要があり、月1回の定例会など、郊外の人間にとってはつらい。委員の中で責任ある立場は近い、動きやすい人にやってもらったほうが助かると思います	1
・まずは自分自身がブロック研修や社福会の研修会に積極的に参加し、活動の幅を広げていきたい。これまで同様に案内を希望。現在、介護業務に従事しており、ソーシャルワークから少し距離を置いているため、これらの活動を積極的に活用していき、専門性を深めていけるような活動を行っていきたい	1

- ・社会福祉士の資格を取っても、その資格への求人が少ないように感じる。資格をとったメリットを感じられない。社福士の地位時向上を求めたい。私の就いている高齢者分野では、ケアマネ>社福士 が重視されている 1
- ・専門職としての社会的認知度が高まる 1
- ・“小さな政府”とタイアップして、社会事業の委託を受けるなど事業収入の充実 1
- ・今のままでは社会福祉士会の存続というのは難しい状況にあるのではないかと思います
- ・国の施策しだいでは、今後社会福祉士の資格さえ消えつつある危機感を感じてやみません。また新たな資格が考え出され、介護支援専門員が優先された時期があったように（現在、介護支援専門員も低迷化していると思います。）またさらに、追い討ちを掛けるように、社会福祉士という資格そのものが底に沈む可能性があるように考えます。さらに厳しい岐路に立たされていると考えているのは私だけでしょうか？ 1
- ・どんなことがどういう方法で出来るのか、自分で考えるべきなのでしょうが、地域福祉に対してどういう活動が出来るか他の方はどういう活動をされているのか知りたいです 1
- ・認定社会福祉士だ、上級社会福祉士など分かりにくいものを導入するのではなく、足元みて地位確立を目指してほしい。一部の自己満足なSWが増えるようなシステムは変えて欲しい。研鑽のために研修を受講するのは当たり前であって、ポイント制にして登録するシステムなど一部のSWが飛びついているだけ。今回のアンケートでニーズ調査をされたことはいいことだと思います。ぜひ意味のある調査であってほしいと思います。 1

※特になし：29

※未記入：85

Ⅲ、調査の考察

ニーズ等調査の結果から、問4以降を個別に考察したい。

問4の熊本県社会福祉士会が行う研修等に参加する頻度については、38%が参加なしの状況である。参加なしの理由として、勤務に関することが42%の1位と断然多く、交替勤務に従事している者も多く、勤務の調整の難しさが考えられる。そして、研修内容に関することが14%の2位であり、研修内容に魅力を感じない、他団体の研修を優先している等の意見があり、研修内容を考慮して参加していないと考えられる。また、地域性に関することが9%の3位、家庭に関することが8%の4位と、距離や子育て等の状況も関係している。

問5の熊本県社会福祉士会が行う懇親会に参加する頻度については、64%が参加なしの状況である。参加なしの理由として、勤務に関することが36%の1位と断然多く、家庭に関することが11%の3位、地域性に関することが7%の4位と問4と似た結果となった。きっかけに関することが15%の2位で、知っている人が少ない、新しい会員が参加しづらい、転居（入会）して間もない等の意見が多く、きっかけを待っている会員が多い反面、参加しづらい雰囲気も関係している。

問6の委員会の所属状況については、所属なしが80%と大部分の会員が委員会に所属し

ていないというショッキングな数字となった。委員会活動の活性化が大きな課題と考えられる。

問7の所属ブロックが行う研修・懇親会等に参加する頻度については、35%が参加なしの状況である。参加なしの理由として、勤務に関することが43%の1位と断然多く、きっかけに関することが16%の2位、家庭に関することが11%の3位と問5と似た結果となった。

問8の社会福祉士会の入会目的については、ネットワークに関することが47%の1位、スキルアップに関することが39%の2位であった。このことから、大部分の会員がネットワーク作りとスキルアップのために入会したといえることができる。

問9の入会目的に対する満足度については、満足とやや満足を合わせて64%の結果となり、概ね満足しているといえることができる。不満等の理由については、自分自身に関することが32%、会の活動に関することが29%とほぼ同数であった。自分自身に関する事の中で、自分がまだ、殆ど参加できていないが多数であり、参加できていないから不満とするのは当然の結果である。会の活動に関する事の中では、研修内容、回数に不満、魅力を感じないが多数あり、交流機会が乏しいは少数であった。つまり、ネットワークに関することを目的に入会した会員にとっては、概ね満足していると考えられ、スキルアップに関することを目的に入会した会員にとっては、研修内容等に不満があると考えられる。特徴的なこととして、カテゴリー分けは行っていないが、会費が高い割にはメリットがないの意見が多数あり、現実的に評価している会員も多い。

問10のあなた自身が行いたい活動などについては、実践活動に関することが30%の1位と断然多く、ついで、研修に関することが10%の2位、ネットワークに関することが8%の3位となった。1位の実践活動に関する事は、自分自身の業務分野から様々な活動へと専門性を活かしたい気持ちが強く感じられる。2位の研修に関する事と、3位のネットワークに関する事については、入会目的と大きく関係し、目的の達成のためと考えられる。しかし、43%が未記入であり、実際の活動に参加できていない会員が多い中、やりたいことがわからない会員も多いと予測できる。

問11の今後の活動に向けての要望などについては、研修に関することが17%の1位、広報に関することが14%の2位と多数となった。1位の研修に関する事については、入会目的として強い要素のため、様々な研修内容等が記入されている。特筆すべきは、2位の広報に関する事であり、これまでのアンケート項目では、ほとんど意見が見られなかったが、会の活動や社会福祉士の活動に関する広報のニーズの強さが感じられる。特に、個別にみれば、広報誌やホームページに関する意見が多数みられ、情報社会の中、広報誌とホームページの充実が大きな目に見える課題である。また、ネットワークに関することが7%の3位であり、特に若い世代の交流が求められている。そして、ブロック活動に関することが5%の4位であり、ブロック再編に関係して、今後の期待が伺える。

IV、まとめ（提言）

ニーズ等調査の結果から、熊本県社会福祉士会の会員の一般像を考えてみたい。ただし、回収率は43,5%であり、一定の傾向を示すにとどまるのがこの報告書の限界である。

入会目的については、ネットワーク作りやスキルアップ等であり、満足度については、概ね満足している。しかしながら、ネットワーク作りは、活動に参加することにより充たされているが、スキルアップは、研修内容や回数等に不満が残っている。取り組みたい活動については、自分自身の業務分野に関係した実践活動の気持ちが特に強く、入会目的に関係し、研修への参加やネットワーク作りを行いたいと考えている。要望については、研修に対して様々な要望があるとともに、広報に対して、会の活動を知りたいニーズと社会福祉士の活動を広めてほしいニーズが混在している。

全体的傾向としては、自分自身の業務分野を基本に、スキルアップの目的から、自分自身の業務分野に関係した研修を求め、自分自身の業務分野に関係した実践活動を行いたいようである。そして、ネットワーク作りの面では、ネットワークを求めている反面、きっかけを求めている会員も多く、参加しづらいと感じている会員もいるため、懇親会や委員会活動の参加状況が低くなっている。

最後に、今後の熊本県社会福祉士会の課題として、要望にあがった通り、研修、広報、ネットワークの三つが大きな課題と考えられ、今後のあり方を提言したい。

まず、研修については、自分自身の業務分野を中心に、会員の様々なニーズがあることがわかった。会としては、基礎研修等の実施により、通常の実施が厳しい現状にあり、地域性や家庭状況等による研修不参加も多いことから、通常の実施は、ある程度、ブロック単位で行う検討が必要である。そして、会員自身については、研修内容を選択している会員が多いが、職域も拡大している現在、スペシャリスト的考えだけでなく、ジェネラリスト的考えを持ち、自分自身の関連領域まで学び包括的支援者を目指す意識改革も必要であろう。

次に、広報については、会の活動や社会福祉士の活動も関する広報を望んでいることがわかった。まずは、目に見えるところのホームページ、広報誌の充実が急務である。そして、公益事業の実施とともに、各種行事等の実施時は、報道機関等を活用した積極的広報・啓発活動が必要である。

また、ネットワークについては、関係作りのニーズが高い反面、きっかけを待っている会員も多いこともわかった。会として、会員に対して、各種行事や委員会活動等への参加の広報とともに、積極的かつ直接的な参加への働きかけが必要である。そして、会員自身については、まずは気楽に参加する気持ちが必要である。

今後、熊本県社会福祉士会は職能団体であり、会員は様々な分野の業務に従事しながら、活動を行っており、多くの会員の参加が何よりも望まれる。会員一人ひとりが何らかの役割を持ち、主体的に参加することにより、ネットワークが広がり、社会福祉士の広報が進んでいくと考えられる。

問7、所属するブロックが行う研修・懇親会等に参加する頻度について、該当する項目に○をつけて下さい。

1. 毎回参加 2. 年に数回 3. 参加なし

* 3に○印をつけた方は、理由をご記入下さい。

[]

問8、社会福祉士会への入会目的をご記入下さい。

[]

問9、入会目的に対する満足度について、該当する項目に○をつけて下さい。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満足 4. 不満足

* ③④に○印をつけた方は、理由をご記入下さい。

[]

問10、あなた自身が行きたい活動等がありましたら、ご記入下さい。

[]

問11、熊本県社会福祉士会の今後の活動に向けて、ご要望等がありましたら、具体的にご記入ください。

[]

*ご協力、有難うございました。用紙は、2月20日までにご返送下さい

※編集後記

まずは、「ニーズ等調査」にご協力いただきました会員の方々に感謝申し上げます。

熊本県社会福祉士会は、1992年に結成され、ようやく20歳を過ぎたところです。会員数も709名（2013年8月1日現在）となり、会員のニーズも様々になってきました。この「ニーズ等調査」の結果を基に、今後の熊本県社会福祉士会の活動に活かしていきたいと考えておりますが、ニーズへの対応は、理事等役員だけの力では限界を感じています。会員の方々の協力が不可欠です。

最後に、会員の方々のこの「ニーズ等調査」に書かれた思いを、委員会やブロックにおいて主体的に活動いただき、自分自身のニーズを充たしていただけたら幸いです。

会員サービス委員会 担当理事 川上 賢蔵

報告書名	ニーズ等調査報告書（2012年度）
発行団体名	（社）熊本県社会福祉士会 会員サービス委員会
発行日	2013年8月30日
会長名	後藤 征之
担当者名	久保田 享治 （委員長）
	吉村 春香 （副委員長）
	馬場 智宏 （委員）
	田木 さやか （委員）
	平田 幸穂 （委員）
	川上 賢蔵 （担当理事）

連絡先：（社）熊本県社会福祉士会 事務局

〒862-0910 熊本市東区健軍本町 1-22 東部ハイツ 105

TEL：096-285-7761

FAX：096-285-7762

e-mail：kumacsw@lime.plala.or.jp

http：//www9.plala.or.jp/cswkuma/